

とうべつ

手にとって <sup>ぐ~っと</sup>good 身近に



WEB版はこちら

# 議会だより



No. 212

令和5年2月1日発行

## CONTENTS

## 12月定例会

特集 チャイルド・ファースト 子育てしやすいまちへ向けて・・・ p. 2

総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会

7人の議員が町の考えを質す・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 5

- ・ がんでも安心して暮らせる社会へ
- ・ ロイズ新駅開設に関連して
- ・ ロイズタウン駅周辺の今後の開発
- ・ 基幹産業の農業振興の取り組みを
- ・ 次代につなぐ農業政策を！
- ・ 介護の負担増・給付削減やめよ
- ・ 町全体を俯瞰した賑わいづくり

議案の審議結果、先進地視察研修の報告・・・・・・・・ p.12

12月定例会、各種報告等



園児の雪遊びの様子（認定こども園おとぎのくに）

## 特集

## チャイルド・ファースト

## 認定こども園おとぎのくに 新園舎建築へ

町内では、子育て世帯の移住増加などにより保育ニーズが高まっており、太美地区にある認定こども園おとぎのくにでは、今後の児童数の推移を見据えて、国や町の補助金を活用して、新園舎建築を進める方針です。

民生費

## おとぎのくに新園舎建築

公私連携型「認定こども園おとぎのくに」園舎整備

問

現時点でおおよその図面や計画が出ていないと間に合わないようなスケジュールであるが、町教委から事業者に対して、新しい園舎整備に係り、どのような要求や要望をしているのか。

答

待機児童が出る恐れについて協議の中で、建て替えという話になった。その際に、あそびのひろばや一時保育などのスペース確保、ゼロカーボンを考慮してほしいという意向を伝えている。

民生費

## 公私連携で良い建物を

公私連携型「認定こども園おとぎのくに」園舎整備

問

事業者との協議が、定員が何人でこれだけスペースが必要というレベルのものになっていないか。地域皆で応援できる園舎づくりのために、より緊密な協議が必要かと思うが、今後の予定は。

答

短いスケジュールではあるが、この中で町の意向を伝え、当別町らしい園舎のために、事業者と密に協議を行っていききたい。

## ～園舎整備スケジュール～

令和5年1月	事業者へ現園舎の無償譲渡
1～3月	事業者にて乳児室拡大工事
4月	園舎建て替えに係る補助金申請
5月	事業者にて園舎建築工事入札
令和6年3月	園舎完成
4月	新園舎開園



現在の園舎

民生費

## 国の補助と町の負担

公私連携型「認定こども園おとぎのくに」園舎整備

問

園舎整備費について、総事業費が約9.6億円で、国の補助金を活用すると、町負担が12分の1の約8,000万円となるということか。

答

国の補助金には、町負担が12分の1になる部分と4分の1になる部分があり、合算すると町負担が約8,000～9,000万円と試算している。

民生費

## 現園舎の改修工事

公私連携型「認定こども園おとぎのくに」園舎整備

問

建て替えに係る国の補助金を申請する前に、現園舎の無償譲渡や乳児室の拡大工事を行うとのことだが、何か影響はないのか。

答

令和5年度に、0歳児などの受け入れ枠が不足する恐れがあるため、まずは早急に現園舎の改修が必要となる。改修は、現園舎を無償譲渡した後、事業者が執り進めていく。

民生費

## ゼロカーボン導入も

公私連携型「認定こども園おとぎのくに」園舎整備

問

事業者主体ではなく、公私連携型であるのなら、役場庁舎建て替えの議論と同様に、ゼロカーボンやバリアフリー、災害に強い、利便性が良いことなどについても考慮してほしい。

答

ゼロカーボン等について、当然町としては新しい施設に導入していきたいと考えている。現在、事業者において新園舎の設計等を進めているため、導入を検討するよう伝えていきたい。

# 子育てしやすいまちへ向けて

## 給食費改定 保護者負担は

町教委では、昨今の物価高騰を受け、給食に安価な食材を使うなどの工夫をしていますが、給食栄養摂取基準を満たすのに苦労しています。給食費を約7%引き上げると提案されましたが、保護者負担については最大限努力して調整するとのことでした。

### 教育費 給食費の改定

学校給食費

**問** 保護者への負担軽減を検討中のようだが、全国で無償化等の話がある中で値上げは、移住促進の上でマイナスのメッセージになるのでは。町教委と町長部局で協議し最大限努力してほしい。

**答** 給食の食材は保護者が負担することになっており、今回の改定は給食センター運営委員会の答申を受けての判断。保護者へ負担をそのまま転嫁するかは、町長部局としてしっかり詰めていきたい。

### 教育費 子どもの笑顔のために

学校給食費

**問** おかずなどの副食費の割合が落ちてきている。子どもは副食を楽しみにしているので、地元食材を使うなどして、地域で副食を充実させるべき。給食へ積極的にもっと力を入れて取り組んでは。

**答** 子どもたちの笑顔や食育はまちづくりにつながるなど、給食は大変重要なものである。予算はこれからの検討となるが、町教委として最大限努力して取り組んでいきたい。

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中学生	直近の改定時期
千歳市	247円			266円			304円	平成26年度
当別町	249円	255円		261円		317円	平成26年度	
新篠津	255円	259円		263円		302円	平成30年度	
石狩市	253円	260円		266円		326円	令和4年度	
恵庭市	265円	270円		275円		337円	令和3年度	
北広島市	283円	286円		289円		342円	令和2年度	
江別市	289円	292円		295円		351円	令和2年度	

石狩管内市町村の1食あたりの給食費（令和4年度）

## 子どもプレイハウス委託 成果と課題

### 民生費 プレイハウス民間委託

プレイハウス利用者アンケート結果

**問** 委託は令和4年度からの初めての取り組みで、将来的な長期契約に向けて、まずは1年契約していた。全体的には評価しているとのことだが、現時点で何か課題はあるのか。

**答** アンケートの結果、おやつ満足度、保護者への子どもの様子の伝達度については、改善が必要と考えている。改善策を受託事業者と一緒に考えるように協議を進めている。

### 民生費 外遊びできなかった理由

プレイハウス利用者アンケート結果

**問** 夏の一定期間、受託事業者の指示により、子どもたちは外遊びができなかったと聞いたが、どのような理由だったのか。

**答** 7月下旬から8月末まで、暑さでマスクを外す

ことによる感染リスク回避のために外遊びを自粛したと聞いている。長期にわたっているコロナ禍では、日々対応策も変わるため、今後の活動についても事業者と十分に協議していきたい。

## 子育て世帯へ 物価高騰対策

原油価格・物価高騰による子育て世帯の負担軽減を目的として、町内の中学生以下の児童がいる世帯を対象に、児童1人あたり5万円を支給する「子育て世帯原油価格・物価高騰対策補助金」について説明がありました。国の新型コロナ対応交付金を活用することや、対象を高校生まで拡大できないかなど多くの議論が交わされました。

民生費

### コロナ交付金の使い方

子育て世帯原油価格・物価高騰対策事業 7,062 万円

問

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について、今回は子育て世帯への補助事業に使うとのことだが、どのような考え方でこの交付金の対象としたのか。

答

本交付金の使途として、以前はコロナの影響を受けた事業者へ充てるものとされていたが、今回は広く住民に対応すべきという使途が国から示されており、子育て世帯への支援とした。

民生費

### 子育て世帯への補助金

子育て世帯原油価格・物価高騰対策事業 7,062 万円

問

予算総額 7,000 万円とのことだが、町のお金を持ち出して、高校生まで対象にできないか。

答

国からの交付金は約 5,600 万円で、差額は町の

一般財源となる。これまでの交付金や財源などを総合的に検討した結果、今回の事業提案となった。今後、同様の施策が実施される場合においても、交付金の使途に合わせてしっかりと検討していく。

### <子育て世帯原油価格・物価高騰対策補助金>

#### ●支給対象者

令和5年1月31日時点で町の住民基本台帳に登録されている中学3年生以下の児童を養育する保護者

#### ●給付額

児童1人あたり5万円（対象児童数 1,400人）

#### ●支給日

令和5年2月7日（火）

#### ●その他

児童手当を職場から受給している保護者、所得制限により児童手当を受給していない保護者は申請が必要。

本会議  
質疑

### 金額を下げ対象を広げては

子育て世帯原油価格・物価高騰対策事業 7,062 万円

問

児童手当基準で対象を選んだことや今回の金額の根拠は。支給額を下げれば、同じ予算で18歳まで支援できるのでは。

答

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資する

という児童手当の趣旨を尊重し、今回の交付金を最大限活用したもの。交付金は、今後どのような形で給付されるか不明だが、そのようなことも十分検討していきたい。

## 感染者数の把握

民生費

### 感染者状況の把握は

新型コロナウイルス感染状況

問

11月と12月の状況報告を聞いて、新型コロナによる死亡者数が非常に多くなってきている印象があるが、当別町の実態はどうなっているのか。

答

2022年9月26日に北海道が全数届出の見直しを行って以降、市町村別の感染者数の公表は限定的となり、死亡者については、市町村別の公表はされていない。

計画

### 風力発電は含めないのか

当別町ゼロカーボン推進計画（素案）

問

町内にある風力発電計画は、住民との合意形成が図られておらず、町としても推進できないようだが、2050年までの本計画に掲載がないということは、町内では風力発電は行わない考えか。

答

合意形成が重要であり、合意形成が図られていない事業は推進できない。当別は風力のポテンシャルが比較的高いエリアもあるが、景観や健康被害の懸念から十分注意するよう掲載している。

# 一般質問

佐々木 常子 議員

ここからは

一般質問 7人の議員が登壇し、町政に対する質問をしました。

質問の  
ねらい

## がんでも安心して暮らせる社会へ

がんを体験し、がんと向き合って生きる、がんサバイバーにとってアピランスケアは重要。アピランスケアとは、手術や抗がん剤治療により、脱毛、爪の変形、皮膚の変色など外見の変化による苦痛を和らげ

るケアのこと。再発の不安や副作用などがある中、仕事などの社会活動をする上で、外見の変化は心の大きな負担となる。2023年に国のモデル事業も始まるが、自治体として、どう考え、どう取り組むのか。



ウィッグ (本人提供)

ここが  
聞きたい

## アピランスケアが重要

**問** がん治療による脱毛などの外見の変化は、社会生活を送る上で、患者の心に大きな負担となる。ウィッグ助成など、アピランスケアを町として支援する考えはあるか。

**答** 国のがん対策推進基本計画では、がんとの共生が最重要課題の一つとされ、アピランスケアのモデル事業も検討されている。道内もがん対策強化が進むと考えられ、情報収集に努めていく。

ここが  
聞きたい

## がん教育にも取り入れて

**問** 治療による外見の変化は、自分らしさの喪失や人間関係の変化などの不安が悩みの本質となる。それを理解した上でのケアが重要。保健センターの研修などでアピランスケアも取り上げては、

**答** アピランスケアは、がんとの共生という点で重要視されてきていると認識。推移の見極めと情報収集を行い、ケアの在り方について、研さんを重ねていく。

ここが  
聞きたい

## 難聴放置の認知症リスク

**問** 難聴を放置すると、会話や社会活動が減少し、うつや無気力、認知機能低下につながる。補聴器の使用は認知症予防に一定程度の効果が期待できる。難聴に関する社会的な啓発も重要では。

**答** 認知症予防は単に補聴器使用の啓発等を行えば良いわけではなく、生活習慣に気をつけたり、人との交流を持つなどの働きかけが必要。引き続き、認知症ケアパス配布などを行っていく。

ここが  
聞きたい

## AED 使用率は女性が低い

**問** 女性へのAED使用は、胸への電極貼付など、ためられる場面がある。服を脱がずとも貼付できるが、下着に金属があり上手くいかないこともある。傷病者を覆い隠せる三角巾を備えては、

**答** 救命処置をためらわずに実施するには、AEDの正しい使い方の習得が重要。消防署による講習の受講を広く呼びかけていく。三角巾を備えることと使用率は直接つながらないものと考えている。

※1 AED (自動体外式除細動器) … 心臓の状態を診断し、不整脈があれば電気ショックを与え正常な状態にする機能を持つ医療機器。



当別町役場に設置している AED

【その他の主な質問項目】

災害対策としての自助・共助・公助の働きかけなど



## 一般質問

稲村 勝俊 議員

質問の  
ねらい

### 次代につなぐ農業政策を！

需要の減少、農産物の輸入自由化、ウクライナ問題、生産資材の高騰など、農業を取り巻く環境は厳しさを増している。そのような状況の中、当別町の基幹産業である農業を持続可能なものとするためには、地域に

おいて課題を共有し、解決方法や今後の進め方を考えることが極めて重要である。当別町農業について、将来的な課題の解決方法や町として方向性を示す必要について質した。

ここが  
聞きたい

### 農業課題の共有は

問

需要減少や資材高騰など、農業を取り巻く環境は厳しさを増している。また、地域の人々の価値観も多様化する中、今まで以上に農業課題を共有して協議を進めていく必要があるのでは。

答

農業再生協議会や農業 10 年ビジョン見直しなど、農業者・関係団体と意見交換する機会があるので、各地域や団体において、課題の共有を図っていただくよう働きかけていく。



田植え後の水田



稲穂が垂れている様子

ここが  
聞きたい

### 中長期的な展望を示して

問

水田活用直接支払交付金のルールが定まらず、農業政策が転換期を迎える中、転作の自由選択や農用地整備など、次代の農業者が中長期的な展望を持てるように町として方向性を示すべきでは。

答

交付金の見直しは、町にとって大きな転換点。課題対応や方向性を示すため、農業 10 年ビジョンを見直している。課題を乗り越え、成長へつなげるため、関係者と一丸となって取り組みたい。

ここが  
聞きたい

### 次代へつなげる努力を

問

当別町は休耕率が高く、整備が行き届かない農地を多く抱えているため、耕作地を少しでも良い状態で、次代へつなげる努力が必要では。

答

農業再生協議会の中でも、今後の農業をどうしていくのか、農業者や関係団体の皆さんから、いろいろな意見をいただいて協議し、方向性を出していくよう努めていく。



冬を迎える水田

# 一般質問

澁谷 俊和 議員



質問の  
ねらい

## ロイズ新駅開設に関連して

町には人口増加につながる住宅誘致を進める計画があるのか、具体的に明らかにしてもらいたい。また、ロイズ工場や道の駅周辺の道路に愛称を付けると町広報で報じられたが、地域住民から湧き出た呼称こそ、

効果が生まれ長続きして、歓迎されるのではないかと疑問。さらに、道路には歩道もなく車は60～70km/hで走行している。人が歩くのは危険であるため、よく考えるべきでは。

ここが  
聞きたい

## 住宅誘致の計画は

**問** 令和4年に新駅が開設されたことは大変喜ばしいことだが、人口減少が進む中で、新駅を中心とした住宅誘致計画はあるのか。具体的に明らかにしてほしい。

**答** 現時点で計画はないが、新駅開業に伴い新たな土地利用に期待が高まっている。人口増加を目指す中で重要な地域であるため、より効果的、魅力的な土地利用となるよう計画を立てていきたい。

ここが  
聞きたい

## 周辺道路の愛称問題

**問** 愛称は地域住民から湧き出て初めて効果生まれるのではないかと疑問。町費を使うこと、町が音頭を取っていくことは疑問。どのように考えているか。

**答** 愛称は愛着を持ってもらうこと、イメージアップや親しみやすさなど町外へPRになる。新駅開業時も多く報道されPR効果の高い地域。町の知名度、魅力を高めるため積極的に取り組む。



第2期当別町町営住宅等長寿命化計画



※ 詳細はこちらからご覧になれます。(当別町のホームページへ)

ここが  
聞きたい

## 第2期町営住宅長寿命化計画

**問** 大雪などどんなことがあっても安心して暮らせる町営住宅を望んでいるが、第2期計画の計画期間を10年とするのは遅すぎるのではないかと疑問。計画自体を練り上げて進めることも必要では。

**答** この計画年次にこだわることなく、計画の前倒しも考えているが、他の事業やその優先度、財政状況も併せて総合的に判断していきたい。

ここが  
聞きたい

## 窓口対応に問題はないか

**問** 先日、町営住宅の入居を断られた人から相談があり、私から担当部署に確認したら入居できたことがあった。入居希望者への窓口対応は適切に行われているのか。

**答** 問い合わせには親切丁寧に対応するよう日頃から指示しているが、相応しくない対応があるならば、複数職員で対応するなどの改善を図り、入居希望者のニーズに沿えるよう努めていきたい。

ここが  
聞きたい

## 豪雪時の除排雪体制は

**問** 令和3年2月の豪雪時、町には対策本部が設置されず大混乱となった。今年は太美に新しく雪堆積場が設置されるようだが、そのことや過去の反省を含め今後はどのように対応していくのか。

**答** 除排雪連絡協会における地域、事業者、町の3者それぞれの役割や協働の在り方、雪堆積場新設など各種取り組みの磨き上げを毎年繰り返し、当別モデルの除排雪の進化を目指していく。



## 一般質問

鈴木 岩夫 議員

質問の  
ねらい

### 介護の負担増・給付削減やめよ

社会保障審議会の3年に1度の介護保険制度見直しについて報じられた。介護保険の負担増や給付削減などの懸念について質した。また、農業において危機が拡大している。基幹産業である農業を守る方策について

質した。また、町内における風力発電所計画は、方法書から準備書段階に差し掛かっており、計画に懸念を抱く町民から不安の声が出ている。町の事業者に対する認識について質した。

ここが  
聞きたい

### 介護法改定でどうなる

問

2024年の介護保険法改正に向けて、利用料増額や介護サービスの給付削減などの検討課題が厚生労働省より示された。これ以上の負担やサービス低下を招かぬよう国に求めるべきでは。

答

国の社会保障審議会介護保険部会の審議内容を注視するとともに、利用者の負担増やサービス低下が起こらないように、必要に応じて国や道に要請を行っていく。



介護の様子（イメージ）

ここが  
聞きたい

### 5年ルールの見直しを

問

基盤整備されていない地域、投資能力が十分でない農業者がいる状況において、水田活用直接支払交付金の5年ルールは現実的でない。10年、20年先を見通せる政策を国に求めるべきでは。

答

国は交付金見直しに地域の実情を勘案するとして、基盤整備事業が実施される場合には、5年ルールを適用しないことが認められた。引き続き、町の実情が勘案されるよう国に要望していく。

ここが  
聞きたい

### 医療体制は大丈夫か

問

コロナ患者の受け入れ病床がひっ迫し、在宅で亡くなる高齢者が出ていると報道された。介護を要する高齢者への医療体制について、入院を含めて迅速に対応できるようになっているか。

答

道は感染者数把握を全数から重症化リスクの高い人等にシフトし、健康観察対象者を限定。これにより高齢者の体調が変化しても、入院を含めて迅速に対応できるよう改善されたと考えている。



当別町の自然環境

ここが  
聞きたい

### 事業者に対する認識は

問

風力発電計画を進める事業者について、国への申請過程で法に抵触する状況が見られたり、住民説明会での不誠実な対応など、好ましくない事業者だと懸念しているが、町長の認識は。

答

説明会の回答に一貫性がなく明確でないこと、対応の不誠実さなど、住民との合意形成は極めて不十分であると認識。環境アセスメントに対する意見としても道に提出済みである。



# 一般質問

山崎 公司 議員



質問のねらい

## ロイズタウン駅周辺の今後の開発

当別町を持続可能なまちとするために、「ロイズタウン駅」周辺の開発をはじめ、札幌市に近いメリットを最大限に生かしたまちづくりが重要と考えるが、今後どのように展開していくのか質した。また、マイナ

ンバーカードの普及状況や認定こども園における通園バスの利用確認について質した。最後に、子育て世帯支援の進捗状況、公共施設使用料の見直しについて質した。

ここが聞きたい

## 新駅周辺の目標人口

**問** 当別町第6次総合計画では、2030年までに人口16,000人を目標としていることから、新駅周辺では300世帯1,000人以上を目標とし、コンパクトなまちづくりを行うべきでは。

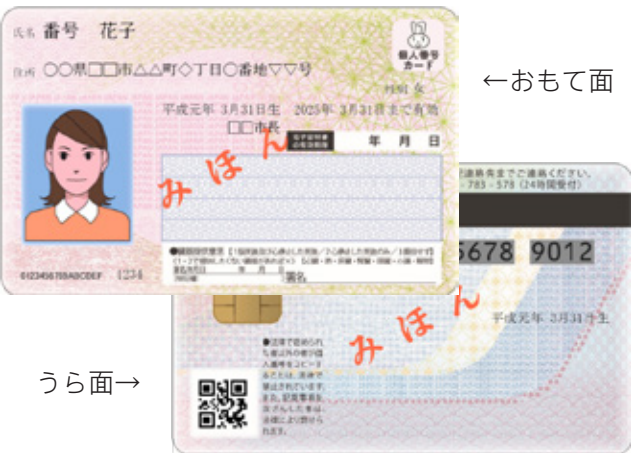
**答** 現時点で新駅周辺の住宅地は考えておらず、数値目標も設定していない。町全体としては、当別駅、太美駅中心のコンパクトなまちづくりにより総合計画に定めた人口を目指していく。

ここが聞きたい

## 庁舎や電子図書館を

**問** 新駅周辺の都市機能として、商業施設、庁舎などの公共施設、地域包括支援センター窓口、電子図書館などを検討する余地はあるか。

**答** 都市機能の充実には町全体で考える必要がある。新駅周辺のPRや企業誘致、周遊環境整備、開発事業者との継続的な協議などを進め、段階的な土地利用につなげていきたい。



マイナンバーカード見本 (総務省提供)

ここが聞きたい

## マイナンバーカードの現状

**問** マイナンバーカード交付率に依り交付税等に差を付ける方針も示されたが、当別町の交付率は。また、取得を希望しない人への対応や個人情報流出の懸念に対し、どのように対応していくのか。

**答** 令和4年11月末現在、46.8%の交付率。取得を希望しない人には、今後の手続きで不便が生じる可能性を伝え、情報流出の懸念に対してはカードの仕組みを説明し、不安軽減に努めている。

ここが聞きたい

## 通園バスの利用確認は

**問** 静岡県で通園バスに女儿が置き去りにされ死亡する事故が発生したが、町内の認定こども園では、送迎バスの利用確認等はどのように行っているのか。

**答** 乗降時の名簿確認を複数人で実施している。また、11月からはバス管理システムを導入し、システムと連動した名簿管理を行うなど、運行管理と安全確認のさらなる強化を図っている。

ここが聞きたい

## 公共施設の利用料

**問** 65歳以上は町外利用者でも無料としているが、それらの方を有料とし、町内の児童生徒を無料にはできないか。

**答** 町教委として、施設利用料については、町長部局と協議を進めており、町全体の統一した考えの下で見直しを図りたい。

【その他の主な質問項目】  
人口減少対策の進捗状況、新駅前広場の有効利用と再生可能エネルギーの活用 など



# 一般質問

佐藤 立 議員

質問の  
ねらい

## 町全体を俯瞰した賑わいづくり

第6次総合計画や都市計画マスタープラン、立地適正化計画などで、当別駅周辺及び太美駅周辺の地域を中心としたコンパクトで持続可能な市街地を形成するというランドデザインが示されている。役場新庁舎

の機能検討が進む今こそ、地域全体を俯瞰してこのランドデザインを具体化する必要がある。また、教育行政において、継続的な課題である待機児童と通学かばんの重さ、デジタルツールの活用についても伺う。

### 町へ貢献する公共施設とは

**問** 公共施設が「町の活性化に貢献する」具体的な姿を、「町民に親しまれ、子育て世代と北海道医療大学生を中心とした多くの人が集い、地元商業者の売り上げが増える」と定義してはどうか。

**答** そもそも公共事業は、多くの町民の利便性を高めるために行われるものであるため、限定的に定義することは馴染まないと考えている。

### 街の中で誰が何をするか

**問** 公共施設の配置にあたっては、具体的にどのような人が、街の中で何をするのかイメージしながら考えていく必要があるのでは。

**答** 多くの住民が町のクオリティ向上を実感できるように事業展開するため、個別計画を作りたいと考えている。また、どのように外から人を呼び込むかを重点に、具体策作り努めていきたい。

### 町民と考えるまちづくり

**問** まちの賑わいづくりにあたっては、決まったものを説明し、それに対して理解をもらう流れではなく、検討中のものは検討中のものとして意見をもらい、町民と一緒に考えて進めるべきでは。

**答** 以前は決定後に説明会を行うなどしていたが、今はできるだけ町民から意見をもらう場を作り、事業を具体化していく形を取っている。できる限り、この方針で進めていきたい。

### 待機児童を防ぐために

**問** 保育士の確保を支援するために、既存の支援制度拡充などの方策を検討する必要があるのではないか。

続3年ごとの一時金給付、保育支援者配置や保育士の加配に対する補助など、人員確保を中心に支援している。待機児童の発生を抑える施策について、町教委と町長部局とでしっかり調整していきたい。

### タブレットでかばんを軽く

**問** デジタル教科書やAIドリル<sup>※1</sup>などは、学習効果を高めるだけでなく、家庭学習でのタブレット活用や通学かばんの重さ対策にも有効。全児童生徒へ速やかに導入する必要があるのでは。

**答** 現代に求められる教育の実現のため、PC端末の持ち帰りは必須。児童生徒の学習環境整備に向け、AIドリル等のデジタルツールについて、令和5年度予算に盛り込むよう進めている。



PC端末を使う児童（とうべつ学園提供）

【その他の主な質問項目】  
認定こども園との保育需要に係るデータ共有 など

※1 デジタル教科書…紙の教科書をデジタル化した教材。タブレットやパソコン上に表示して使用できる。

※2 AIドリル…AI（人工知能）を導入したドリル。AIが一人ひとりの理解度に応じて、苦手な問題を表示するなどの機能がある。

# 一般質問

古谷 陽一 議員

次のページは

議案の審議結果 本会議では多くの報告や議決が行われました。

質問の  
ねらい

## 基幹産業の農業振興の取り組みを

国民の命を支える農業者が安心して生産活動を行うために、水田活用直接支払交付金見直しへの対応として、農地基盤整備は欠かせない。さらに、地元の課題を訴えること、新規就農者の受け入れ態勢強化が必要

である。また、町の活性化に向けた商店街や市街地の土地利用について、官民協働で進めることが必要であることや、除排雪体制のさらなる充実、姉妹都市との学校交流などについて質した。



稲刈りの様子

ここが  
聞きたい

## オール当別で中央要請を

**問** 水田活用直接支払交付金の見直しは、当別町にとって大きな問題で、クリアできなければ死活問題となる。国は地元の声を聞き入れるとのこと。オール当別で中央要請する必要があるのでは。

**答** 本町の実情に即した見直しとなるよう、道・町村会を通じて国に要望してきているが、必要となれば、農業関係団体の皆さんとともに、農業者の声を直接国に届けていきたい。

ここが  
聞きたい

## 町も土地改良の取り組みを

**問** 農業者は5年以内に水張りをしように進めているが、自力での整備は限界。土地改良区も懸命に取り組んでいるが、全てには取り組めない。町も土地改良への取り組みが必要では。

**答** まずは、農業者の皆さんが、当別の水田を維持発展させていくためにどうしていくべきか、地域や組織で議論して、方向性を出していただくことが重要なのではないかと考えている。

ここが  
聞きたい

## 市街地の活性化対策

**問** 地域特性を把握し、調和の取れた土地利用をすることが、新しい賑わい創出につながる。新庁舎周辺や商店街活性化に向けて、官民連携で都市機能を分担し、コンパクトシティを実現しては。

**答** 立地適正化計画に示しているとおり、都市機能充実を図り、市街地活性化の検討を進めている。民間ビルへの公共施設区分導入など、官民連携してコンパクトなまちづくりを推進していく。

ここが  
聞きたい

## 除排雪体制について

**問** 除排雪体制は他市町村と比べるとまだ不十分と考えているが、情報収集や調査研究はどう進めていくのか。また大雪が発生した場合はどう対応するのか。

**答** 当別モデルの構築を目指して研究を重ねてきており、他市町村と比べて劣るものはないと認識。大雪など緊急時は、除排雪作業の時間延長など、オール当別での対応を考えている。

ここが  
聞きたい

## 姉妹都市との学校交流

**問** 姉妹都市との交流は意義深いものの、積極的に小中学生の交流を実現することが姉妹都市の絆を深めるのでは。

**答** ふるさと教育を活用し積極的に取り組む。オンライン交流も視野にいれ、姉妹都市との絆がより深まるよう検討する。

【その他の主な質問項目】  
当別町農業総合支援センターの活動強化、官民連携によるとうべつ学園周辺の開発 など



**伊達市と松前町を視察**

11/24-25 道内所管事務調査

伊達市議会と松前町議会を訪問し、議員定数と報酬、一般質問の方法、議会タブレットなどについて説明を受け、意見交換してきました。

伊達市議会では、再質問回数に制限を設けていないなど、当別町議会と異なる点について伺い、闊達な意見交換をすることができました。

松前町議会では、タブレット導入の経緯経過を詳しく伺ったほか、実際にタブレットを使わせてもらい、ペーパーレス会議システムを体験してきました。



伊達市議会にて



松前町議会にて

# 令和4年第4回定例会

日程：12月6日～13日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

傍聴1名 議会中継視聴回数 1,507回 (1/23 現在)

結果  
掲載ページ

【委員会報告】		結果	掲載ページ
道内所管事務調査の実施について		—	p.12
【専決処分】			
令和4年度一般会計補正予算（第4号） 大雨による河川復旧工事等に伴う費用を増額補正し専決処分したので、報告し承認を求めるもの	◎	—	
【補正予算】			
令和4年度一般会計補正予算（第5号） 11億8,655万円を増額し、総額を157億906万円とするもの	◎		p.2 ～ p.4
令和4年度下水道事業特別会計補正予算（第1号） 1,105万円を増額し、総額を10億1,379万円とするもの	◎	—	
令和4年度水道事業会計補正予算（第1号） 収益的支出の修繕費を320万円増額等するもの	◎	—	
令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 311万円を増額し、総額を21億4,088万円とするもの	◎	—	
令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 583万円を減額し、総額を2億8,329万円とするもの	◎	—	
令和4年度介護保険特別会計補正予算（第2号） 143万円を増額し、総額を17億5,648万円とするもの	◎	—	
【条例】			
当別町職員の給与に関する条例の一部改正 職員の給与の改定等を行うための条例の一部改正	◎	—	
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の一部改廃	◎	—	
当別町職員の高齢者部分休業に関する条例制定 地方公務員法の一部改正に伴い、高齢者部分休業を導入するための条例制定	◎	—	
当別町手数料条例の一部改正 新たに手数料を設定するための条例の一部改正	◎	—	
【人事案件】			
人権擁護委員の候補者の推薦について <small>はしもとしゆんいち</small> 橋本俊一氏の任期満了に伴い、新たに <small>しら いまたか</small> 白井応隆氏を推薦するもの	◎	—	
人権擁護委員の候補者の推薦について <small>みやまき なおたか</small> 宮崎直高氏の任期満了に伴い、新たに <small>わたなべ やすお</small> 渡部泰夫氏を推薦するもの	◎	—	
【その他】			
財産の取得について 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を得ようとするもの	◎	—	



**北海道社会貢献賞（自治功労者）表彰**

11/30 表彰式

岡野喜代治副議長が、長年にわたる議員活動を認められ、令和4年度北海道社会貢献賞（自治功労者）を受賞されました。

11月30日に開催された表彰式では、鈴木直道知事より岡野副議長へ表彰状が贈呈されました。

※北海道社会貢献賞：多年地方自治の進展、社会福祉の増進等に貢献し、その功績が顕著なもの



表彰を受ける岡野副議長（写真右）

【請願・陳情】	
《令和4年第1回定例会(3月)総務文教常任委員会へ付託》 <b>町立当別小学校「跡」の活用に関する陳情書</b> [提出者]特定非営利活動法人ゆめの種子トーブツ 理事長 堀江 三千代 ※図書館等の機能を備えた生涯学習施設として当別小学校跡の活用等を求めるもの	継続 —
《令和4年第2回定例会(6月)総務文教常任委員会へ付託》 <b>当別町新庁舎に関する陳情書</b> [提出者]太美地域活性化プロジェクト コアメンバー 代表 岡田 隆範 他2名 ※新庁舎建設候補地へ西当別小学校敷地の追加等を求めるもの	継続 —
《令和4年第3回定例会(9月)総務文教常任委員会へ付託》 <b>当別町の学校給食の無料化を求める請願書</b> [提出者]新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体 [紹介者]当別町議会 議員 鈴木 岩夫 ※当別町の学校給食の無料化等を求めるもの	継続 —
《令和4年第4回定例会(12月)産業厚生常任委員会へ付託》 <b>物価高騰からくらしと経済を立て直す施策を求める意見書の採択を求める請願書</b> [提出者]新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体 [紹介者]当別町議会 議員 鈴木 岩夫 ※賃金を引き上げるために中小企業への支援等を求めるもの	継続 —
《令和4年第4回定例会(12月)産業厚生常任委員会へ付託》 <b>医療機関・介護事業所および障害福祉事業所における物価高騰への財政措置を求める陳情書</b> [提出者]北海道医労連札幌地区協議会 議長 黒岩 勉 ※医療機関等への食材や光熱水費高騰に対する財政措置等を求めるもの	継続 —
《令和4年第4回定例会(12月)産業厚生常任委員会へ付託》 <b>安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書</b> [提出者]北海道医労連札幌地区協議会 議長 黒岩 勉 ※医療従事者等の配置基準見直しや大幅増員等を求めるもの	継続 —
《令和4年第4回定例会(12月)総務文教常任委員会へ付託》 <b>子どもの新型コロナウイルス感染症対策緩和を求める意見書の提出を求めることについての陳情</b> [提出者]北海道子どもの健康を考える会 角野 飛鳥 ※子どもの感染症対策について見直し等を求めるもの	継続 —

総務文教 常任委員会 **ロイズタウン駅を視察**  
12/21 町内所管事務調査

ロイズタウン駅(当別太)を視察し、駅舎や駅前広場の施設概要や整備状況について、担当課から説明を受けました。



駅前広場空撮



地中熱を活用したロードヒーティング



公衆トイレ

総務文教 常任委員会 **道内4市町を視察**  
1/11~13 道内所管事務調査

富良野市、網走市、大空町、鹿追町を訪問し、先進事例について視察研修を実施しました。

富良野市では、口頭で伝えるだけで証明書が発行できる「書かない行政窓口」、網走市では、建設工事が進む「市役所新庁舎」、大空町では、令和3年に開校した大空高校における「新しい高校づくり」、鹿追町では、平成15年から長年にわたり取り組まれている「幼小中高一貫教育」など、多岐に渡る項目について説明を受け、研さんを積んできました。



富良野市役所新庁舎の窓口



網走市視察



大空町立北海道大空高等学校



鹿追町視察

## 議会のうごき（令和4年12月～令和5年1月）

12月 6日	議会運営委員会 議員協議会 第4回定例会	1月 6日	議会広報特別委員会
7日	総務文教常任委員会	11日	総務文教常任委員会道内所管事務調査
8日	産業厚生常任委員会	12日	総務文教常任委員会道内所管事務調査
9日	第4回定例会 総務文教常任委員会	13日	総務文教常任委員会道内所管事務調査 愛媛県今治市議会行政視察来町
12日	第4回定例会	16日	議会広報特別委員会
13日	議会運営委員会 議員協議会 第4回定例会 議員協議会 議会広報特別委員会	23日	議会広報特別委員会
21日	総務文教常任委員会町内所管事務調査		
22日	議会広報特別委員会		

### 3月定例会のご案内

#### <3月定例会>

予定 3月3日(金)～3月17日(金)

内容 令和5年度予算審査、代表質問、  
補正予算審査、一般質問など

※本会議や委員会の傍聴が可能です。

#### 議会インターネット中継

本会議と常任委員会の  
ライブ中継や録画配信を  
インターネットにより配  
信しています。詳しくは、  
ホームページをご覧ください。



※日程が決まり次第ホームページへ掲載します。

### 議場での傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場の傍聴を制限しています。また、インターネット中継も行っているため、インターネット環境のある方は、可能な限りそちらをご利用ください。ご協力をお願いします。



傍聴席を制限

### ご意見ご感想をお寄せください

議会だよりの編集について、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡ください。今後の参考とさせていただきます。

#### 議会事務局

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町 58 番地 9  
TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474  
E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

### 議会広報特別委員会

委員長 五十嵐 信 子  
副委員長 鈴木 岩 夫  
委員 佐藤 立  
委員 佐々木 常 子  
委員 櫻井 紀 栄

### 編集後記

収束の見えないコロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻などの影響が町民の暮らしに暗い影を落としている一方で、子育て世代の移住者増加や複数の医療機関が開業するなどの明るい動きもあります。そのような中、町民の命と暮らしを守るための対策など、本町の課題や方向性について12月定例会で議論が行われました。

今回の議会だよりにては、その内容が分かりやすいように工夫を凝らして紙面を作りました。本年も一目で分かる紙面づくりに努めていきますので、ご意見・ご感想よろしくお願ひします。

議会広報特別委員会 副委員長 鈴木 岩夫

次回「とうべつ議会だより第213号」は本年6月に発行します。